

研究情報公開資料(オプトアウト用)

この公開情報をご覧になって、

1. ご自身が研究の対象になっているのかがよくわからない
2. 研究の内容や利用される試料・情報について詳しく知りたい
3. ご自身の情報が研究に用いられることを拒否したい

～この場合はお申し出により、試料や情報の研究への利用を停止します

などの場合は、下記 12.の「お問い合わせ先」までご連絡ください

研究管理番号 (受付番号)	YCR22017
1 研究課題名	当院で手術したグロムス腫瘍の検討
2 研究機関および 研究責任者 (研究分担者) (共同研究機関)	研究機関 医療法人社団あんしん会 四谷メディカルキューブ 研究責任者 手の外科 医師 松下 俊介 研究分担者 手の外科 医師 牛尾 茂子、岩城 啓修、平瀬 雄一
3 研究期間 調査期間	研究期間 開始:院長許可後 ~ 終了:2023年12月31日 情報等調査期間 開始:2010年1月1日 ~ 終了:2022年5月31日
4 研究の背景・目的 ・意義・方法等	グロムス腫瘍は皮膚軟部組織腫瘍の中でも比較的稀な腫瘍であり、まとまった症例数を検討した研究は日本及び世界的にも乏しいのが現状です。特に当院で行っている顕微鏡を使用した切除術は世界でも報告が限られています。当院は世界的にも有数な手術症例数を誇るため、当院での治療や治療内容及び疾患特性について比較検討することで新規性のある報告をすることが可能であると考えられます。2010年4月から2021年12月までに手術をした方のカルテ内容を見直し、性別や有病期間、男女比、画像検査、適正なフォローアップ期間などを検討します。
5 研究の対象 となる方	2010年4月～2021年3月の間に、当院手の外科において皮膚軟部組織腫瘍切除手術を受けた方で病理検査の結果グロムス腫瘍と確定した方。
6 <u>試料・情報等の 利用目的、利用方法</u>	患者様の性別や年齢を属性による差異がないか確認します。超音波検査・X線検査・MRI検査での所見の有無について確認し、有用な検査手法や特徴的な所見について検討します。再発の有無や爪変形などの後遺症の有無について手術方法による差異や有病期間による差異などがどうか検討します。フォローアップ期間について確認し、十分なフォローアップ期間の適正値を計算します。
7 <u>研究に用いる試料・ 情報の種類(項目)</u>	血液検査、画像検査、病理検査、患者様の性別・手術時年齢・有病期間・フォローアップ期間・症状・後遺症などの診療録 診療録および上記各種検査結果から情報のみを抽出して処理し、カルテ番号、生年月日、イニシャル、病理検体番号等の個人を特定しうる情報については一切使用いたしません。
8 <u>試料・情報を利用 する者の範囲</u>	上記2と同じ範囲の者

9	<u>試料・情報の 管理責任者</u>	上記 2 に示した研究責任者
10	計画書等の閲覧	研究計画書及び研究の方法に関する資料を閲覧可能です。 下記 12.のお問い合わせ先までご連絡ください。ただし、知的財産権の保護等に支障がある場合は閲覧できないこともあります
11	その他の開示 すべき情報	個人情報については、一定の条件の下で開示可能です。 下記 12.のお問い合わせ先までご連絡ください。ただし、他の対象者の個人情報に支障があるなどの場合は開示できないこともあります。
12	お問い合わせ先	<p>試料・情報が研究に用いられることについて、ご本人(あるいは代理人)が了承されない場合は、下記の連絡先までお申し出ください。</p> <p>連絡先所属・氏名(研究責任者あるいは窓口担当者): 医療法人社団あんしん会 四谷メディカルキューブ 手の外科・マイクロサージャリーセンター 医師 松下 俊介 住所: 〒102-0084 住所: 東京都千代田区二番町7-7 電話: 03-3261-0401 FAX: 03-3261-0402</p>

診療情報を研究に用いるにあたっては、個人情報保護のため個人を識別できない状態にして 6.の目的のためだけに使用します。また研究成果を学会や論文で発表する際は、「個人を特定できる情報を削除した上でデータ処理、解析」したものを使用します。